

各事業セグメントごとの IPv4アドレス枯渇対応アクションプラン

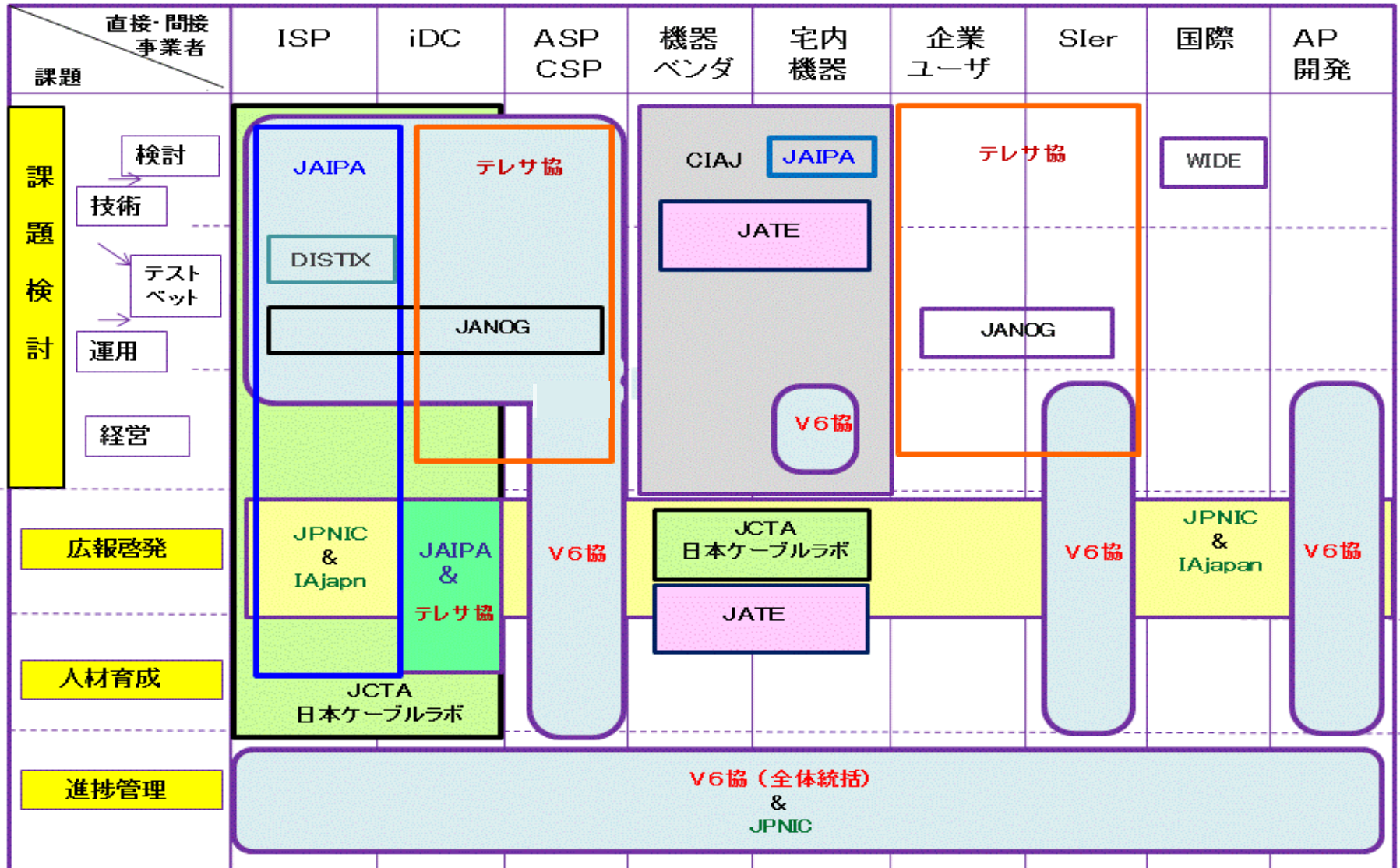
今後の取り組みに関わる情報共有

- I. IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース／テレコム業界団体のSOW概観図
- II. 各セグメントごとのアクションリスト
- III. (参考) 関係団体の関連線表
- IV. IPv4アドレス枯渇対応タスクフォースのアクションプラン線表(案)
- V. IPv4アドレス枯渇対応タスクフォースの課題

2008年10月6日
IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース
荒野 高志

「課題」と「直接・間接事業者の事業セグメント」の関係

SOW-1



略号説明

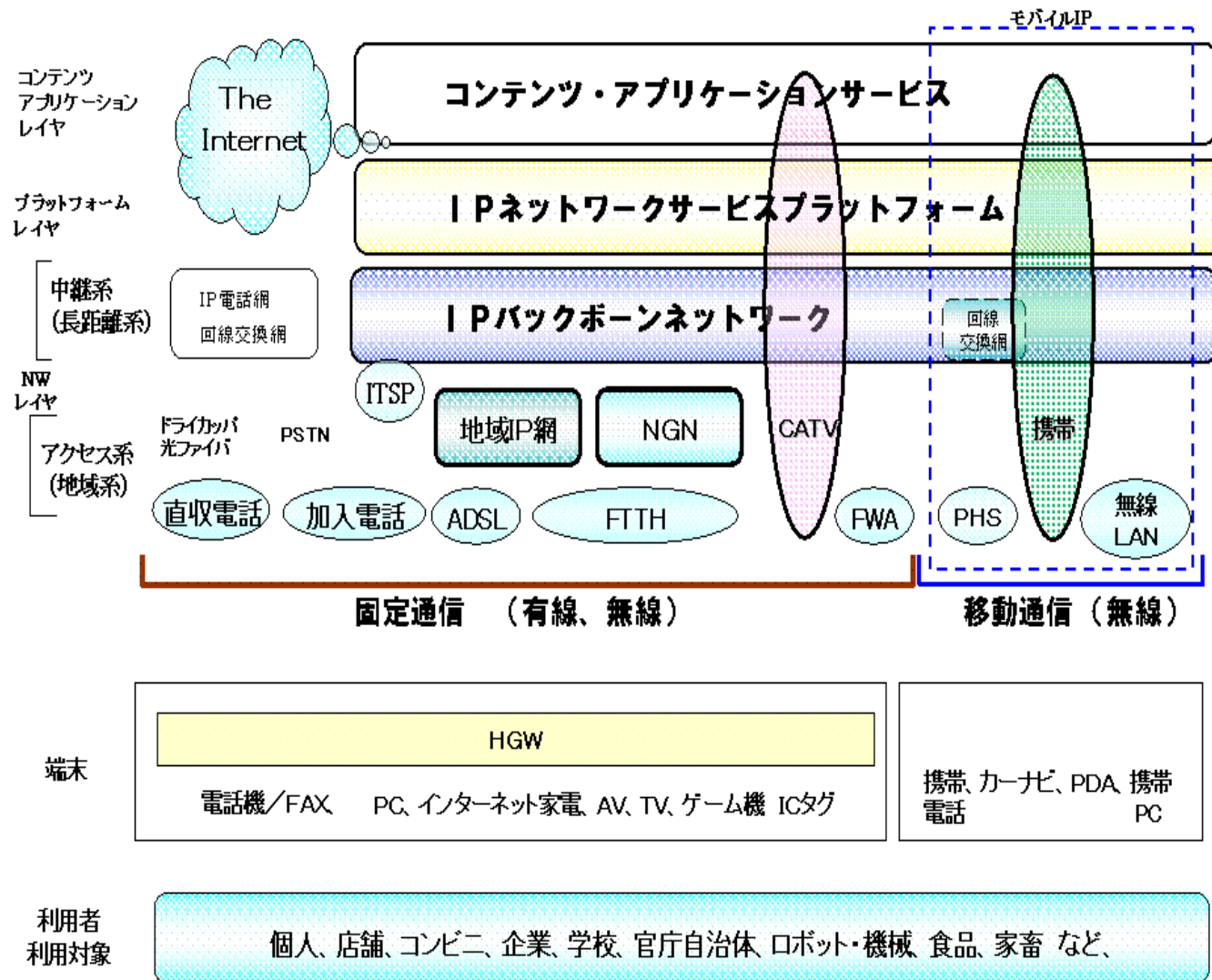
SOW:Scope of Work の略、iDC:データセンター事業者
 ASP:アプリケーションサービスプロバイダー、CSP:コンテンツサービスプロバイダー

2008.09.04 時点

「テレコム業界の事業構造」と「直接・間接事業者の事業領域」の関係

SOW-2

事業構造（水平的、且つ、垂直的なレイヤ構造）



直接・間接事業者の事業領域(例示)

ASP CSP		Sier	
ISP	iDC	AP 開発	
		企業 ユーザ	
	宅内 機器	機器 ベンダ	

各セグメントの取り組み要件（1）

I SOW-1の各事業セグメントは、SOW-2の様に
『 水平的、且つ、垂直的な事業構造（レイヤ構造） 』



II よって、各セグメントの取り組みは、
・各セグメント内を“横刺”する水平的な連携（**業界内連携**）
・各セグメント間を“縦刺”する垂直的な連携（**業界間連携**）
が併せて必要となる



III TFとして全体進捗を図る目的から

1. 各セグメントには、業界内連携を図って、TFが示した『**各セグメントごとのアクションリスト8項目**』に則って、対応計画のとりまとめをお願いします
2. TFは、業界間の全体連携・進捗管理の立場から『**全セグメントの全体計画**』として各セグメントの調整・整合を図る
3. TFと各セグメントは、1、2を共有しながら、進捗を図る

各セグメントの取り組み要件（２）

<前提>

1. 目的： IPv4アドレス枯渇を混乱なく対応する
手段： IPv6導入が最も有望な選択肢のひとつ
と考える
2. IPv4アドレス枯渇時期が、「2010年10月に前倒し」となった。
(2008年9月現在の予想値)
3. 各セグメントの事業者におけるIPv4アドレス枯渇対応を早める必要
があり、2010年9月にはIPv6サービス開始を目標とする。
4. すべてのアクセス網のユーザに対し、IPv6 onlyサーバへの接続性を
確保する

各セグメントの取り組み要件（3）

<各セグメントごとのアクションリスト8項目>

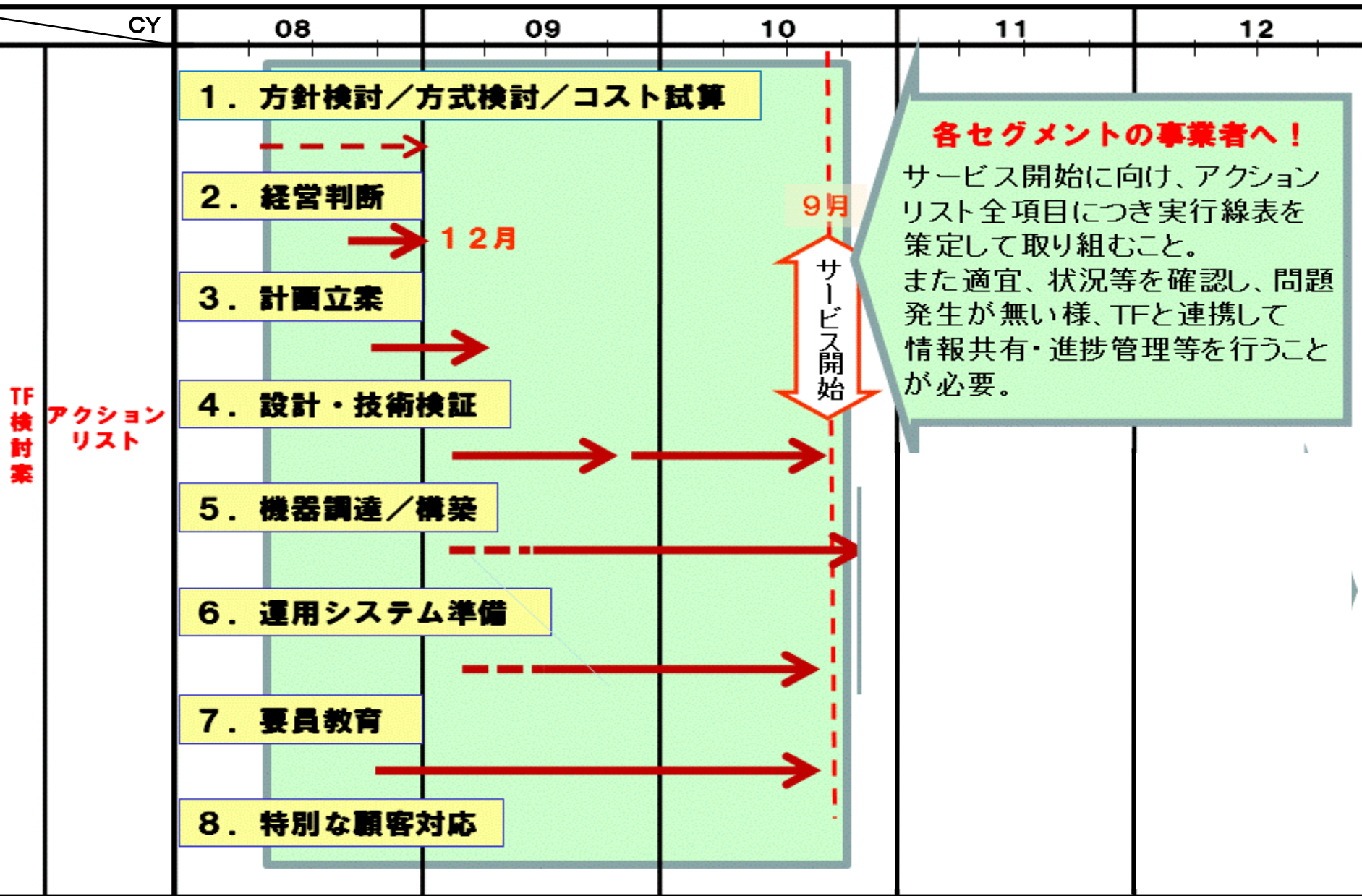
1. **方針検討／方式検討／コスト試算**
 - ・ 枯渇に対して、どの様に対応して行くかについて検討する。
2. **経営判断**
 - ・ 対応 方針について決定を下す。
3. **計画立案**
 - ・ サービスインへの具体的なサービス企画等を行う。
4. **設計・技術検証**
 - ・ ネットワーク、サーバーなど、調達のための技術検証を行う。
5. **機器調達／構築**
 - ・ 機器を調達し、ネットワークを構築する。
6. **運用システム準備**
 - ・ 監視システム、顧客DB、その他のバックエンドシステムの改修
 - ・ 顧客対応マニュアル整備
7. **要員教育**
8. **特別な顧客対応**
 - ・ 方式によっては顧客に大きく影響が出る場合があり、特別な対応が必要となる（CPE交換、料金体系変更など）

Ⅲ. (参考)総務省報告書の線表

総務省報告書



Sinまでの、各セグメントのアクションリストと線表(検討の雛形)



TF
検討案
アクション
リスト

TFとして、当面以下の主要課題を解決していく！

- 1. データセンター／サーバ事業者への啓発**
 - ・現時点であまり認知されていない
- 2. ウェブアプリ／ネットアプリへの影響度検討とS I e rへの啓発**
 - ・アプリケーション開発者がIPv4枯渇を意識していない為に不具合が起こるケースがある
- 3. 今後策定される I S P 計画／仕様とベンダとのすり合わせ**
 - ・(例)家庭用ルータ、ファイアウォールなど
- 4. 様々なアクセス方式に対応する方策の検討**
 - ・基本的に全てのアクセスに対して、IPv4／IPv6が共存する
インターネットでの通信が可能となる様にする
- 5. 検証及び教育のための環境整備**
 - ・テストベッド構築・運用
 - ・教育プログラム